

授業概要

この授業では国際経営、アジア経営に関する初歩的な理論と日本企業のアジア進出の実践例を講義する。講義内容は、①日本企業の国際化と対外投資のきっかけ、歴史、②アジア市場の特徴、アジア進出企業の経営戦略（特にマーケティング戦略、人材開発戦略、現地化戦略）、③リスクマネジメント（特にカントリー・リスク）、④異文化経営における理論と実践例、の四つの部分によって構成されている。必要に応じて以上の内容に関連する映像資料も使用する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション（講義内容、講義方法、評価方法、参考書など）
第 2 回	導入授業：国際経営・アジア経営とは何か
第 3 回	日本企業の国際化と対外直接投資の契機
第 4 回	海外経営と現地調達率
第 5 回	アジア市場の特徴を理解する
第 6 回	アジア進出企業の経営戦略Ⅰ：マーケティング戦略
第 7 回	アジア進出企業の経営戦略Ⅱ：人材戦略と現地化戦略
第 8 回	中間テスト
第 9 回	日本企業における BPO（Business Process Outsourcing）のアジア展開
第 10 回	東南アジア 3 カ国・台湾の日系企業・日本人イメージ
第 11 回	異文化環境におけるマネジメント
第 12 回	異文化マネジメントの実践例
第 13 回	アジアにおけるリスクマネジメントⅠ：カントリー・リスク
第 14 回	アジアにおけるリスクマネジメントⅡ：ビジネス遂行上のリスク
第 15 回	異文化経営におけるリスクにどう対応するか
第 16 回	期末試験

到達目標

- 1、日本企業の海外投資の歴史、きっかけ、現状を理解する。
- 2、異文化マネジメントに関する初歩的な知識を習得する。
- 3、アジア進出企業の経営戦略を理解する。

履修上の注意

- 1、アジア進出日系企業に関する報道・記事に関心を持つこと。
- 2、無断欠席、遅刻・早退、授業中の私語・スマホ操作は厳禁する。

予習・復習

- 1、指定された国際経営論またはアジア経営論の参考書は、少なくとも一冊通読することが望ましい。
- 2、授業後にプリントおよび講義ノートを読み返し、要点を整理し、理解を深めてください。

評価方法

期末試験（40%）、中間テスト（30%）、授業態度（30%）を総合して評価する。

テキスト

特に使用しない。
講義内容に応じてプリントを配布し、参考書を指示する。